

改善事例

「祝 200件達成！」

<p>件名</p> <p style="text-align: center;">外観類似注射薬の削減</p>	<p>職場コード () TEL () 提出日</p> <p style="text-align: center;">マツダ病院 看護部HCU</p> <p>課 / Gr 係 職場 8月27日</p>
<p>今までのやり方(問題点および不具合の内容を定量的に記入)</p> <p>HCUにはニカルジピン注2mgと10mgを別の引き出しに備蓄しており、ニカルジピン注10mgが収納してある引き出しにニカルジピン注2mgと外観が類似しているエリル注30mg×3Aが収納してある。</p> <p>【問題】</p> <p>エリル注30mgの収納場所にニカルジピン注2mgを間違えて収納していたことがあった。</p> <p>・投与前に確認するが、誤薬に繋がる危険性がある。</p>	<p>新しいやり方(実施内容と得られた効果を定量的に記入)</p> <p>ニカルジピン注10mgの使用頻度は高いが、2mgは半年に2回ほどしか薬剤部へ依頼しておらず、備蓄薬より削除した。</p> <p>【効果】</p> <p>使用頻度が少ないニカルジピン注2mgは必要に応じて注文するプロセスにカエタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外観類似薬品の誤収納・誤薬の防止 ・職場内標準化

